危険物　　　　　　　　　　実施計画書

（危険物を収納する設備等からの危険物の抜き取り）

別添４

仮貯蔵

仮取扱い

○○年○○月○○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　住　所　広島市○区○○町○丁目○番○号

　　　　届出者　氏　名　株式会社○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役社長　○○　○○

 　 　　　　　　　　　　電　話　（○○○）-○○○-○○○

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貯蔵・取扱場所 | ○○市○○区○○町○○番○○号　○○第○倉庫北側空地 | 防火地域別 | 用途地域別 |
| 指定なし | 指定なし |
| 貯蔵・取扱いに使用する部分の概　　　　　要 | 屋　内 | 敷地面積 | ㎡ | 屋　　外 | 敷地面積 | 約１２０㎡（○m×○m） |
| 建築面積 | ㎡ | 敷地の概要 | 別紙のとおり |
| 建物の概要 |  |
| 危険物の種別品名及び数量 | 第４類第３石油類（絶縁油）１０，０００リットル指定数量の倍数５倍 |
| 目　　　　的 | 震災等によって被災した変圧器等を修繕、点検するために必要な事項を予め計画するものである。 |
| 貯蔵・取扱いの方　　　　　法 | ⑴　変圧器の修繕、点検のため、変圧器内部の絶縁油を一旦抜き取り、仮設タンク等で貯蔵し、内部修繕・点検が終了後に変圧器内に再度注油する。　⑵　保有空地を３ｍ確保する。　⑶　標識・掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。　　「危険物仮貯蔵・仮取扱所」、「品名・数量・倍数」、「火気厳禁」⑷　保有空地の周囲にバリケードを立て、空地を確保する。　⑸　敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。⑹　作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。⑺　危険物の抜き出し等を行った変圧器の数及び危険物の述べ数量を記録し、事後速やかに報告する。 |
| 安　全　対　策 | ⑴　変圧器等、ポンプ、仮設タンクのアースを確保する。　⑵　仮設の防油堤を設置し、漏えい防止シートの敷設等の流出防止対策を講じるとともに、配管の結合部からの流出防止対策として、オイルパンを設置する。　⑶　１カ所の取扱い場所で同時に複数の設備からの抜き出しは行わない。　⑷　危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。 |
| 消防設備の状況 | 第五種消火設備　１０型粉末消火器　３本を設置する。 |
| 管理責任者（危険物取扱者） | 住所・氏名 | ○○市○○区○○町○○番○○号　　△△　▽▽ |
| 免状種類等 | 甲種・交付年月日　S○○.○○.○○・交付番号　○○○○○○ |

備考　案内図、仮貯蔵・仮取扱い実施予定場所の構造図、敷地の見取り図、危険物取扱者の免状の写しを添付してください。

